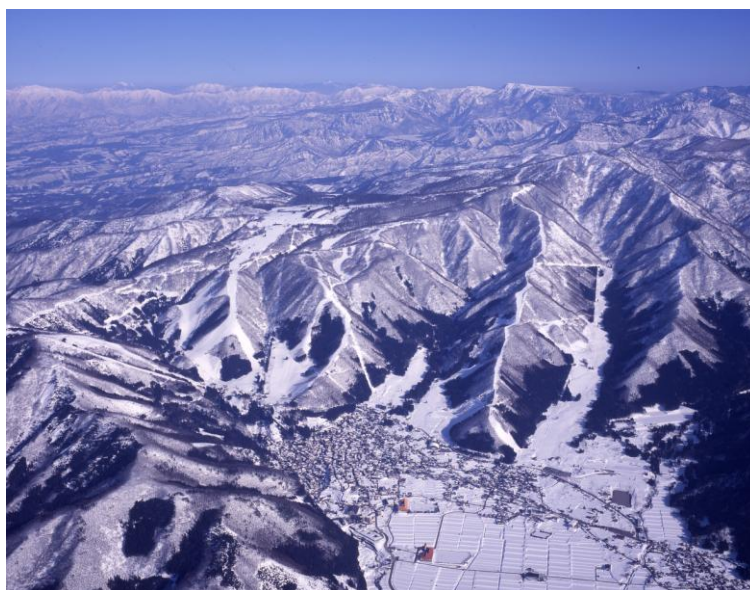


古くて新しい野沢温泉

野沢温泉 桐屋旅館 片桐 アキラ

新年明けましておめでとうございます。

昨年は日本中が様々な災禍に遭い旅館業界のみならず、各方面で大きな被害や影響がありました。それにより価値観の見直し、モノの在り方などが問われた一年でもありました。本年は心機一転、日本にとってそして我々の業界にとって明るい年となるよう頑張らしましょう。



野沢温泉空撮（冬）

さて、長野県の北部に位置する野沢温泉村は自治体名に「温泉」が付き、小さな温泉地でありながら地域住民が管理運営する共同浴場が13カ所あり、野菜などを茹でる「源泉麻釜」など温泉が生活に根差している村です。そして日本有数の豪雪地帯でもあり、今年はスキーが野沢温泉に伝わって100周年となる節目の年でもあります。



道祖神火祭り

今からちょうど100年前、雪に閉ざされた厳しい自然環境と、重労働である除雪を強いられる「雪」を発想の転換で「克雪」から「利雪」、つまり雪国ならではの新しい価値としてのスキーと、昔からの温泉という二つを組み合わせた日本独特のスタイル「温泉とスキー」を生み出した地でもあります。この村は新しい取り組みを積極的に取り入れる一方、頑なに伝統文化を守るという気風も同時に存在し、それは今も守られ続けられている国の重要無形民俗文化財指定の「道祖神火祭り」、温泉や水路、山林などを管理する日本では野沢温泉村にしか残っていない自治組織の「惣」が自治体としての「村」とは別に住民自治として生活に溶け込み残っているなど独特の文化を継承しています。



共同浴場

野沢温泉は決して大きな温泉地でもなく、桐屋旅館を含め小規模施設の集まった温泉地ですが、温泉は全てがポンプアップではなく自然湧出です。そして温泉は有限の資源であるという考え方で新たな温泉開発は村の地下水保護条例で制限されているなど温泉本来の鮮度や質を大切に守っているのが特徴です。

桐屋旅館も敷地内から自噴する温泉を持ち、温泉本来の鮮度や性質を直接お客様に楽しんでもいただけるよう源泉温度は高いですが加水をせず熱交換器などの利用で温泉を薄める事無く浴槽に注ぎ、浴槽の温泉成分が限りなく源泉分析表に近づくよう努めています。

小さな温泉地、小さな宿泊施設ですが温泉や自分達の文化にこだわりを持ち、「小粒でもきらりと光る」を目指している野沢温泉に是非お越しください。



長野県 野沢温泉

桐屋旅館

〒389-2502

長野県下高井郡野沢温泉村大字豊郷

8714-2

TEL: 0269-85-2020